

学習指導要領		都立葛飾野高校 学カスタンダード
(1) 現代に生きる自己の課題	<p>自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二の誕生、マージナルマン、モラトリアム、アイデンティティの確立といった概念を通して、青年期の意義と課題について理解する。 ・青年期における自我のめざめについて理解し、自分自身の心理及びパーソナリティについての考察を深め、自らの心を守る防衛機制の働きについて理解する。 ・他者と共に生きる自己の生き方について、友人や家族など身近な人間との良好な関係性が重要であることを理解する。 ・大人になれない青年が増加していること、発達課題やアイデンティティの問題などをおして、自己の生き方にかかわる課題が現代の倫理的課題と結び付いていることを理解する。
(2) 人間として在り方生き方	<p>自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。</p> <p>ア 人間としての自覚</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「よく生きる」ために、哲学することは「人間としての自覚」を深める精神の営みとなることを理解する。 ・古代ギリシアの代表的先哲とその思想について理解し、ソクラテスやプラトンの求めた、「魂を善くする」生き方について理解する。 ・三大宗教の特徴について理解するとともに、民族宗教としてのユダヤ教の特徴やその歴史的展開について知る。 ・イエスの言行について理解を深めるとともに、キリスト教がもたらした正解規模の影響や、イエスの示す「愛」の概念について理解する。 ・イスラム社会における相互扶助や共同体の在り方など、聖俗一致を基本とするイスラム教の特徴について理解する。 ・孔子、孟子の考え方を通じて、人間についての見方や考え方の相違について考察する。

学習指導要領	都立葛飾野高校 学カスタンダード
<p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古代日本人が多神教的な宗教観をもち、自然のように清らかな、神に対していつわることのない純粋な心を尊んでいたことを理解する。 ・和辻哲郎が唱えた「風土」の考え方を基に、モンソーン型の風土に生きる日本人の自然に対する受容的、忍従的な性格について理解する。 ・最澄と空海の思想の相違や、鎌倉新仏教における自力と他力の信仰の相違などに着目して、我が国で独自に発展した仏教の各宗派の特徴的な考え方を理解する。 ・江戸の官学としての朱子学の考え方を理解するとともに、それに対する陽明学による批判を踏まえて、我が国で独自に発展した儒学の特徴について理解する。 ・我が国における国学について、「もののあはれ」や「真心」を重視した人間の在り方生き方について理解する。 ・我が国における近代化の特徴について、西洋文化の受容の観点から、福沢諭吉や内村鑑三の考え方を知る。

学習指導要領		都立葛飾野高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>現 代 と 倫 理</p>	<p>ア 現代に生きる人間の倫理</p> <p>人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。</p> <p>イ 現代の諸課題と倫理</p> <p>生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の「自由意思」で自己を形成することや人間の尊厳の根拠があることについて、ルネサンス期の思想家や宗教改革の指導者らの言説を通じて理解する。 ・自然や科学技術と人間とのかかわりについて、F. ベーコンとデカルトの考え方を対比して理解するとともに、近代科学を導いた西洋的な自然観や合理的精神について理解する。 ・ホッブズ、ロック、ルソーの三つの社会契約説について、考え方の相違に着目し、社会と個人のかかわりに焦点を当てて理解する。 ・功利主義的な観点から現代政治を捉え、先哲の考えを交えながら、社会生活の中で人間尊重の精神を具現化することの困難さや尊さについて理解する。 ・人間の自己実現は社会生活の中で達成されることや、人間の生きがいと社会貢献について、神谷美恵子の事例などを通じて理解する。 ・脳死の場合の臓器提供など、医療技術の進歩によって生じる新たな課題を多面的に捉え、従来の生命観のみでは対処できない問題が生じていることを理解する。 ・地球環境問題を考察するための土台として、地球の有限性、世代間倫理、自然の生存権の3点を重視した環境倫理の考え方を理解する。 ・家族や地域社会におけるケアの倫理的課題を少子高齢化などの観点から捉え、考察する。 ・メディアリテラシーの重要性について理解すると共に、現代社会におけるプライバシーの考え方や情報収集および発信の在り方について考察する。 ・異文化に対する偏見や固定的な思考を排除することが必要であることを理解する。 ・現代における国際問題の解決を図るためには、地球的な視野に立った国際協調の精神が不可欠であることを、国際憲章などを基に理解する。